

名称：大腿骨頸部骨折症例に対する地域連携の実施割合

指標番号：

QIP: 2166

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018, 2020

更新日：2021-04-22

指標群：整形外科

名称：大腿骨頸部骨折症例に対する地域連携の実施割合

意義：地域連携実績を評価する。

必要データセット：DPC様式1 EFファイル

定義の要約：

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子：分母のうち、地域連携に関する算定のある症例

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

3：

このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○	○

4：

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

6：

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

分子の定義：

1：

地域連携に関する算定がある症例

分子のデータ1

診療行為コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）				○	○	○
113009010	地域連携診療計画管理料	○	○	○	○		
180016110	診療情報提供料（I）	○	○	○	○	○	○
113008910	退院時共同指導料2	○	○	○	○	○	○
190024910	開放型病院共同指導料(2)	○	○	○	○	○	○
113011710	介護支援等連携指導料		○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

分子で挙げた算定にはそれぞれ算定条件があり、実際に何らかの「地域連携」を行っていても、指標の集計には反映されていないことがあり得る

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2021-04-22